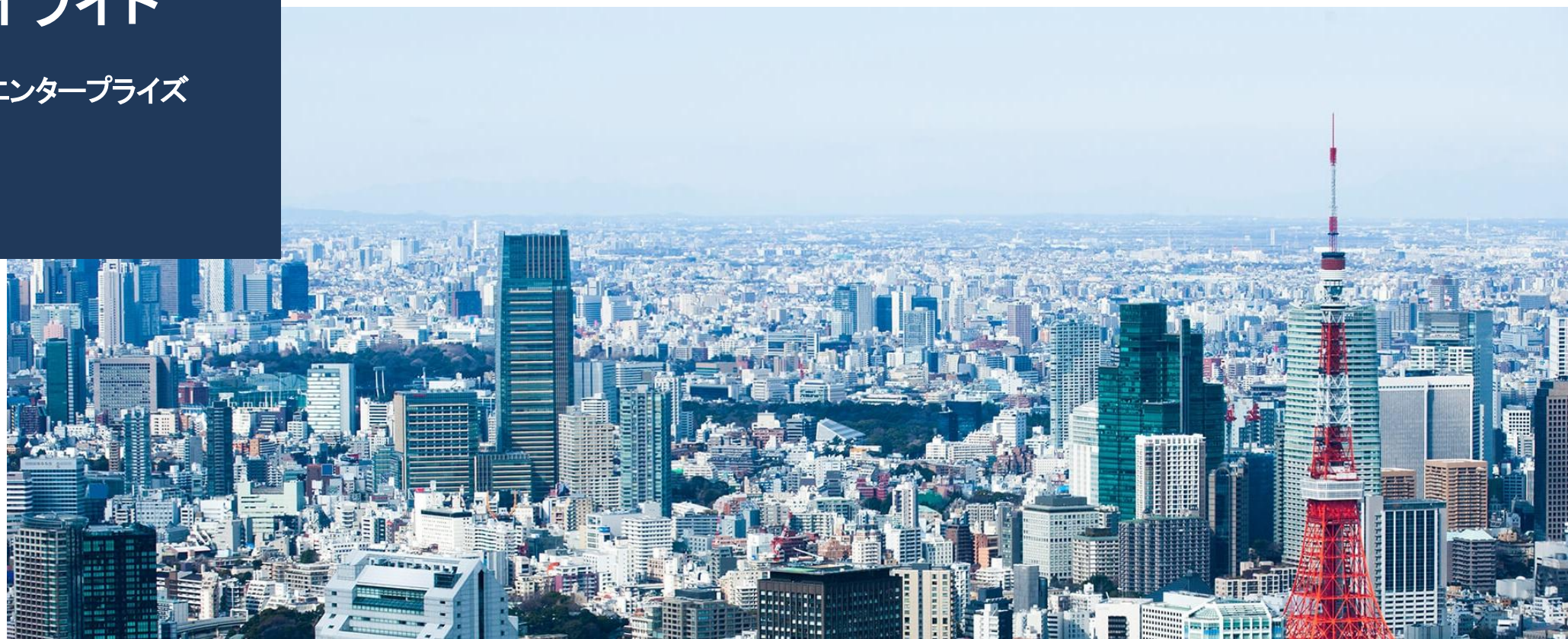


# 2026年7月期 第3四半期 決算ハイライト

株式会社明豊エンタープライズ

8927

2026年6月



## 売上高

23,470百万円  
(前年同期比 +18.3%)

## 営業利益






2,669百万円  
(前年同期比 +28.1%)

## 経常利益

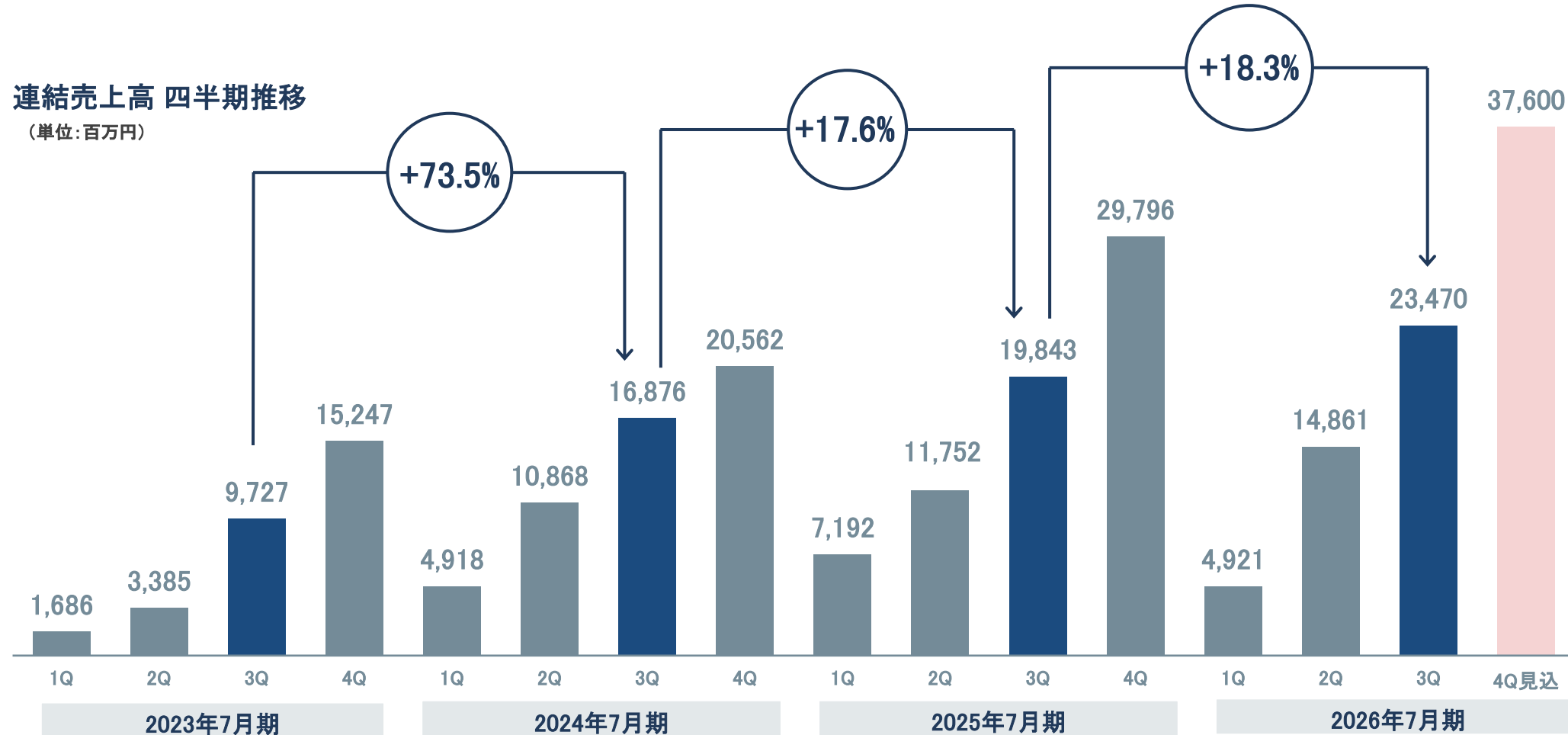
2,208百万円  
(前年同期比 +39.3%)

- 『EL FARO(エルファーロ)』『LOS ARCOS(ロスアルコス)』『MIJAS(ミハス)』売却棟数24棟(前年21棟)  
通期計画37棟前後に対し、**売却契約締結済みを含めて38棟売却見込(進捗率約102%)**
- **安定的な竣工実績と外部受注増により建設事業は売上高3,256百万円(前年同期比33.1%増)を計上**
- **通期予想については概ね計画通り進捗しており変更なし**

2026年7月期第3四半期の業績は以下のとおり。  
売上高・各段階利益ともに前年同期を上回る内容で、通期業績予想の達成に向けても問題なく進捗。

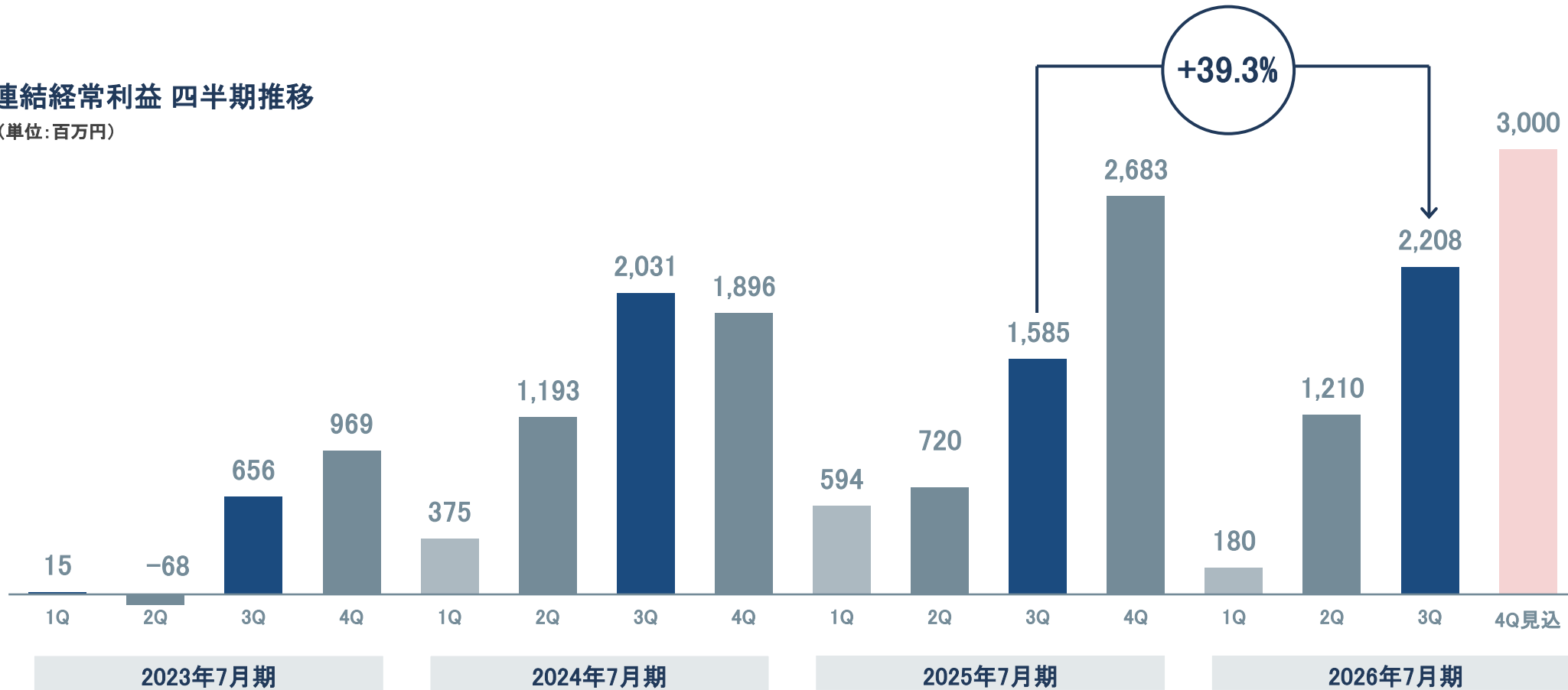
(単位:百万円)	2026年7月期 3Q実績	通期業績予想進捗率	2025年7月期 3Q実績	前年同期比
売上高	23,470	62.4%	19,843	 <b>+18.3%</b>
売上総利益	4,494	—	3,725	 <b>+20.6%</b>
営業利益	2,669	70.2%	2,084	 <b>+28.1%</b>
経常利益	2,208	73.6%	1,585	 <b>+39.3%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,569	78.5%	1,049	 <b>+49.5%</b>

第3四半期において、売上高23,470百万円(前年同期比18.3%増)を計上。  
 売却契約締結済みを含めて38棟が売却見込であり、通期業績予想の達成に向けて順調に進捗(進捗率約102%)。

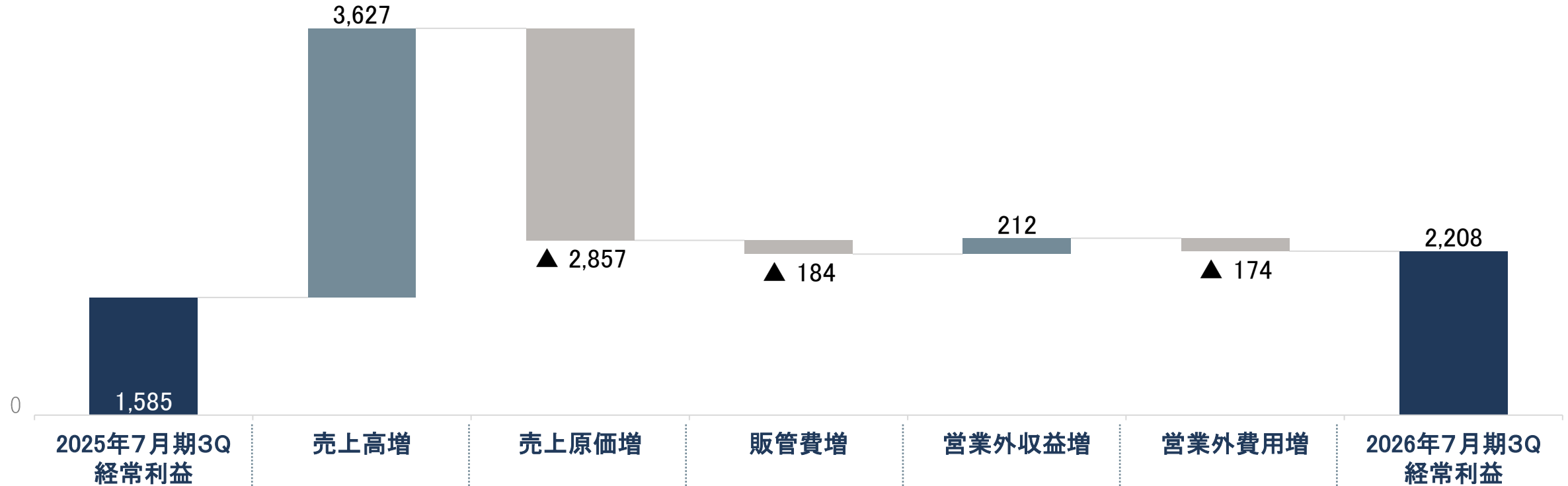


第3四半期において、経常利益2,208百万円(前年同期比39.3%増)を計上。  
 解約違約金収入に加え、販売単価の向上により前年同期を大きく上回る利益を確保。

連結経常利益 四半期推移  
 (単位:百万円)



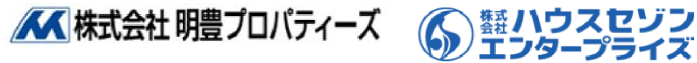
(単位:百万円)



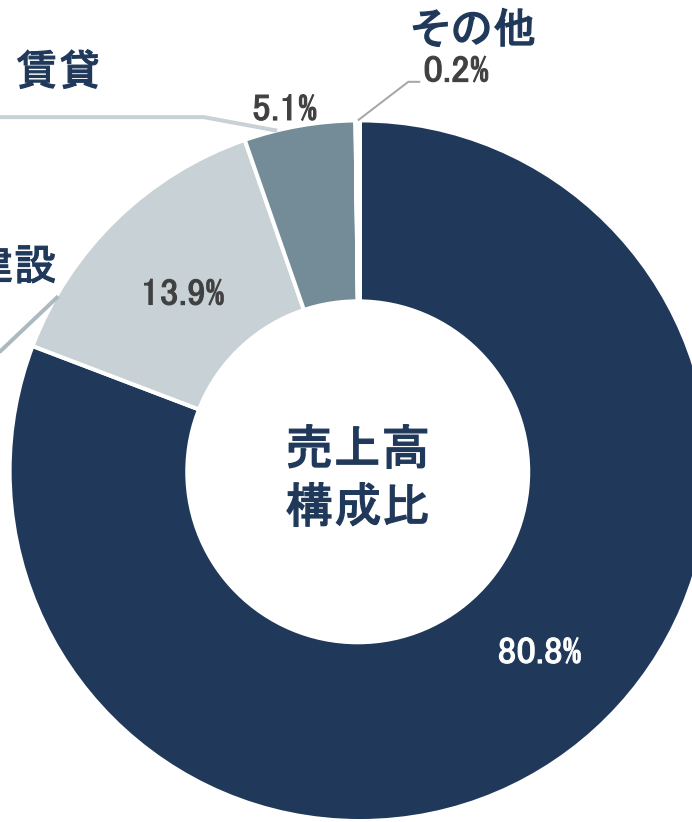
開発事業	+2,828	不動産 売上原価	+2,199	人件費	▲34	解約違約金 収入	+249	支払利息	+106
建設事業	+810	建設事業 原価	+658	租税公課	+102	賠償金	▲29	支払手数料	+57
仲介事業	▲37	不動産仲介 原価	▲2	交際費	+50	保険金収入	▲11	その他	+11
賃貸事業	▲10	その他	+2	報酬費用	+16	その他	+3		
その他	▲36			その他	+50				

不動産開発事業を主軸に、建設事業、不動産賃貸事業を展開。  
グループ売上の約80%を不動産開発事業で構成。

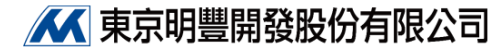
主要ブランドのリーシング・管理、及び  
関西圏での管理を行う



建築工事請負の施工及び  
リフォーム工事などを行う



海外販売

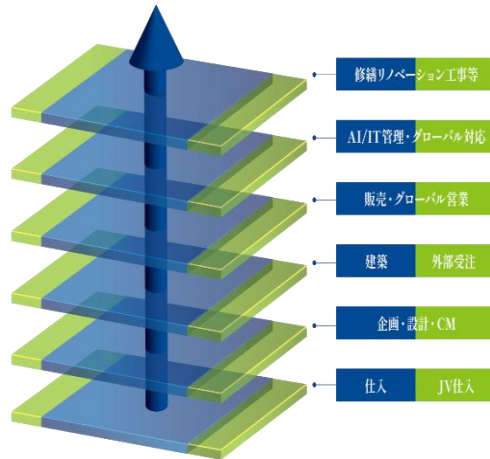


グループ収益の柱。  
『EL FARO』『LOS ARCOS』『MIJAS』の  
開発から販売まで行う



## 01 LOS ARCOS第1号物件の販売

当社の新ブランド「LOS ARCOS(ロスアルコス)」の第1号物件「LOS ARCOS千駄木」が2026年3月に竣工、4月に販売し、本格供給を開始。



〔垂直統合強化・水平展開推進戦略モデル〕



LOS ARCOS千駄木

### 今後の展開

海外投資家等へのグローバルな販路拡大のフラッグシップ商品とし、エレベーター・バルコニー完備の10億円以上の高価格帯物件を展開  
 ⇒中期経営計画の達成を目指す

## 02 ビットキーの導入

賃貸セグメントを担う明豊プロパティーズは、当社管理物件のうち、「MIJAS(ミハス)」シリーズへスマートロックの導入を推進。

2026年4月1日より本格導入を開始し、現時点で15件の設置が完了している。



- ・入居者様の利便性や安心感を高めることで長期的な定着を促す
- ・物件の付加価値・資産価値を向上  
 ⇒オーナー様の収益最大化と明豊プロパティーズの中長期的な安定収益の確保を目指す。



## ①中東情勢について

## リスク

中東情勢の影響に伴うエネルギー価格の高騰により、建築資材価格が上昇するリスクが想定される。

また、原料や燃料の供給制約により、建築資材の納期遅延や、竣工時期の遅延が生じる可能性がある。

## 当社方針

現時点で、通期業績予想への影響は限定的。

今後建築資材の価格高騰、納期遅延について、引き続き需給動向を注視しつつ、仕入先との連携強化、早期手配、代替資材の検討などにより、工期や採算への影響の抑制に努めます。

## ②金利動向について

## リスク

今後、日銀の金融政策決定会合において更なる政策金利の引き上げが示唆されている。

引き上げにより資金調達コストの上昇、投資家様の求める期待利回り水準の上昇が想定される。

## 当社方針

金利上昇による影響については、当社においては都心エリアの開発が中心であり、物価上昇及び需給引き締めに伴う賃料上昇で現時点での影響は僅少。

様々な市況変化に注視は必要であるものの、当社は事業期間の短い物件を開発しており、様々な局面に臨機応変に対応が可能。

2025年8月26日に、累進配当の導入を発表。

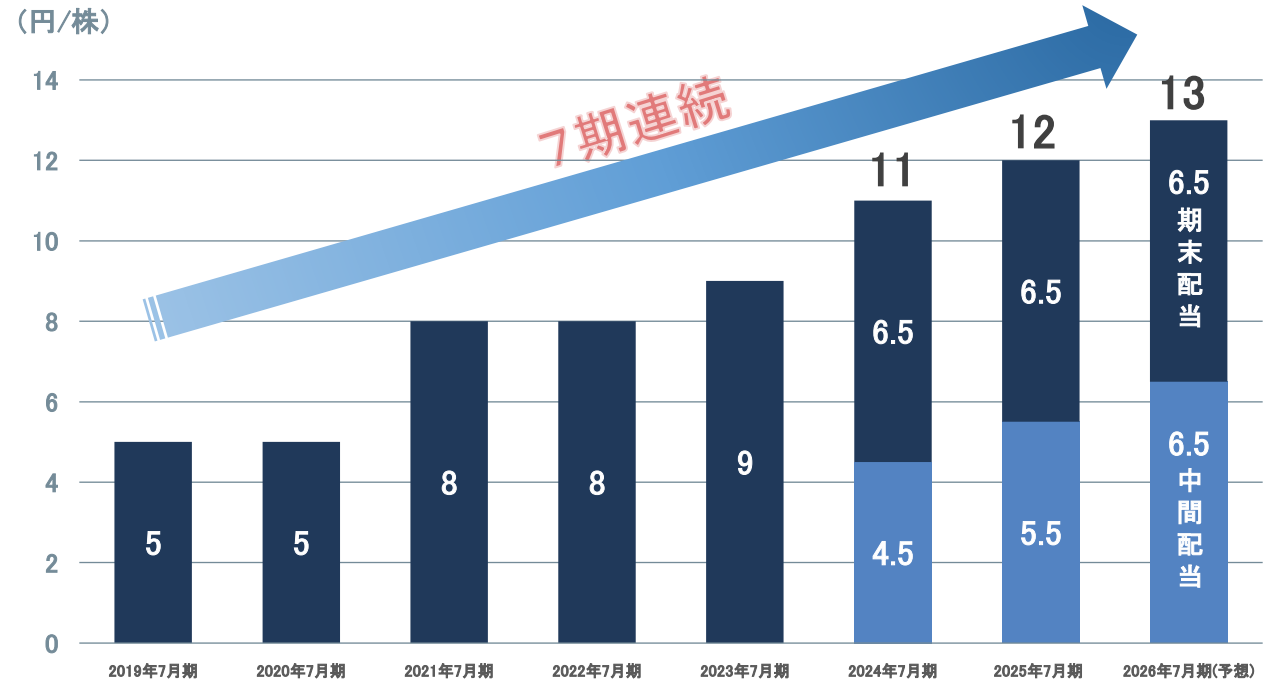
2026年7月期の年間配当は、7期連続累進配当となる13円/株を予想。

## 配当方針

企業価値の向上と株主の皆さまに対する利益還元を経営上の最重要課題と位置づけ。

配当政策は、株主の皆さまに対する利益還元と継続的な成長に必要な内部留保の充実を考慮しつつ、累進配当を継続することを基本方針とする。

配当金額の推移



配当に加え、今期より株主優待制度を導入。

株主還元の充実を図ることで、中長期的な企業価値向上に取り組む。

対象	基準日	優待内容	進呈日
基準日において1,000株以上 保有の株主様	10月末日	デジタルギフト8,000円分	基準日より約3か月後
	4月末日	デジタルギフト8,000円分	基準日より約3か月後

## 総合利回り(配当+優待)



(※1) 2025年7月31日時点の株価418円、年間配当12円で計算(小数点第二位を四捨五入、端数調整あり)

(※2) 2026年5月29日の株価423円、年間配当13円で所有株式数1,000株の保有を想定した場合で計算(小数点第二位を四捨五入、端数調整あり)

## 本資料に関する注意事項

---

本資料に掲載されている情報には、業績予測・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。今後発生する新たな事象及び状況の変動があった場合にも、当社は、本資料の記述を更新又は改定する予定はありません。本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

 Meiho Enterprise Co.,Ltd.